

**第1期「WE LOVE とよた」
行動計画の総括**



**豊田市役所 経営戦略部
経営戦略課**

● 「WE LOVE とよた」について

(1) 「WE LOVE とよた」条例とは

「WE LOVE とよた」の取組を全市的に推進していくために、市民のこのまちへの愛情と誇りを高めて自発的な行動につなげるとともに、幅広い市民の参画を促すために、その基本を定めるものです。

(2) 「WE LOVE とよた」の取組とは

市民がとよたの魅力に改めて気づき、共に絆と信頼を深めながら、愛情と誇りを持って行動し、魅力にあふれたこのまちを次の世代に引き継ぐとともに、人や地域が優しさでつながり、多様な楽しみを尊重し分かち合うことにより、誰もが幸せを感じる「わくわくする世界一楽しいふるさと」を目指すことをいいます。

(3) 「WE LOVE とよた」行動計画とは

「WE LOVE とよた」の取組を具体的に推進していくための事業や行動を示すものです。これらにより、未来に向けて持続可能なまちの実現を目指していきます。

(4) 第1期行動計画

- ・ 計 画 期 間：平成 29 年度～令和 2 年度の 4 年間
- ・ 基本的な考え方：自由に楽しみ、周りに伝え、協力してとよたをもっと楽しくする
- ・ 5 つ の 視 点：
 - ・ 魅力を知る
 - ・ 暮らしに取り入れる
 - ・ 発信する
 - ・ 高める
 - ・ 理解と共感の輪を広げる
- ・ 目 標：まちの魅力に気づき、楽しみ、語ろう
⇒ 「わくわくする世界一楽しいふるさと」へ

●第1期行動計画の評価

(1) 行動計画掲載事業の達成状況

行動計画掲載事業は「第8次豊田市総合計画前期実践計画」及び「第2次地域経営戦略プラン」から、「WE LOVE とよた」を推進する事業、取組を抜粋しています。

5つの視点それぞれで、ほぼすべての事業が目標を達成することができました。

5つの視点	総事業数	達成事業数	達成率
魅力を知る	19	18	95%
魅力を暮らしに取り入れる	16	15	94%
魅力を発信する	10	9	90%
魅力を高める	7	7	100%
「WE LOVE とよた」の理解と共感の輪を広げる	9	9	100%
合計	61	58	95%

※各事業の概要や達成状況等については、〈資料編〉第1期行動計画掲載事業 視点別達成状況（6ページ以降）を御覧ください。

※達成・未達成の判断基準について次のとおりです。

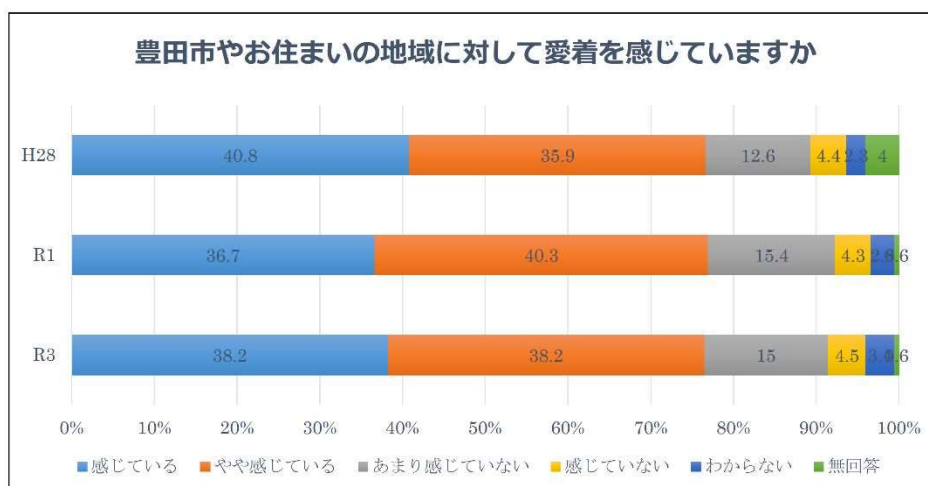
事業の位置づけ	判断指標	達成	未達成
① 8 総前期実践計画事業	柱の成果指標の評価	S、A	B、C
② 地域経営戦略プラン事業	4年間の取組の全体評価	達成	未達成
①②両方に位置づけられる事業	①②いずれか達成の場合は「達成」		

※なお、達成できなかった取組は、新型コロナウイルス感染症の影響による外出抑制やイベントの中止、手法の変更等の影響を受けたと考えられます。

(2) 市民意識調査「豊田市への愛着」の推移

「WE LOVE とよた」条例は、「WE LOVE とよた」の取組を推進し、とよたへの愛情と誇りを高めて自発的な行動につなげ、幅広い方の参画を促すことを目的に定められています。

とよたへの愛着を図る1つの指標として、市民意識調査の「豊田市やお住まいの地域に対して愛着を感じていますか」の回答の推移をみると、「感じている・やや感じている」の割合はほぼ横ばいとなっています。



(3) Eモニターやヒアリングでの意見

市民の意見を伺うため、Eモニター制度を利用し、アンケート調査を実施しました。

■Eモニターの結果（2020年6月実施。回答者206名）

- ・「WE LOVE とよた」という言葉を知っている 98%
- ・「WE LOVE とよた」のロゴマークを知っている 89%
- ・市に対して愛着を感じている・やや感じている 87%

また、「WE LOVE とよた」条例を策定した際の検討メンバーや、「WE LOVE とよたフェスタ」を主催している実行委員会のメンバー等にもヒアリングを行い、4年間の「WE LOVE とよた」の取組に対する意見をいただきました。

<成果>

- ・「WE LOVE とよた」の認知が進んできた。
- ・市民活動が活発になってきた。
- ・垣根を超えた広がりができている。
- ・個々の団体などの活動が増え、それがつながって新たな活動を生んでいる。

<課題・提案>

- ・「WE LOVE とよた」の発信拠点があるとよい。
（※令和3年4月より、とよしばに「WE LOVE とよたステーション」を開設）
- ・外国人にもっと浸透させる。
- ・「WE LOVE とよたサポーターズ」を上手く活用した方がよい。
- ・言葉はよく聞くが具体的な取組が分かりにくい。

●第2期（令和3年度～令和6年度）行動計画について

第1期行動計画については、95%の「WE LOVE とよた」を推進する取組が達成され、「WE LOVE とよた」の認知や担い手、取組が着実に広がりつつあります。一方で、発信において、その内容や手法、対象に工夫が必要であることも分かりました。

上記評価を踏まえ、第2期行動計画については次のとおりとします。

第1期行動計画と同様に

豊田市の魅力を「知る・体験する・参加する・伝える・一緒に楽しむ」取組をまとめ、「魅力のタネ」＝「WE LOVE とよたのタネ」として広く市民に発信していく

<考え方>

- ・目指す姿及び5つの取組の視点は、普遍的なものであるため現計画を引き継ぐ。
- ・行動計画掲載事業は、5つの取組の視点にふさわしい、かつ、魅力をPRしたい事業。

■第2期行動計画「WE LOVE とよたのタネ」概要

目指す姿：わくわくする世界一楽しいふるさと

①魅力を知る ☞ 知る・体験する取組（25事業）

【事業例】稲武養蚕・製糸文化の伝承事業、とよたの果物PR事業

②魅力を暮らしに取り入れる ☞ とよた産のものを買う・使う・利用する取組（11事業）

【事業例】とよたSDGsポイント事業、つけて走って広げよう！ご当地ナンバープレート

③魅力を発信する ☞ 市内外に伝える取組（25事業）

【事業例】とよたを応援！「WE LOVE とよた」のサポーター事業、アニメ「シキザクラ」聖地観光の推進事業

④魅力を高める ☞ 新たに生み出す、掛け合わせる、担い手を育てる取組（11事業）

【事業例】「冒険！体験！発見！しもやま」推進プロジェクト、足助地域核エリア再生の推進事業

⑤「WE LOVE とよた」の理解と共感の輪を広げる ☞ つながる・広がる取組（11事業）

【事業例】プロボノプロジェクト、スポーツボランティアによる魅力の向上事業

発行：令和3年3月

※「WE LOVE とよたのタネ」冊子は、とよしばで配布しています。

ぜひ、ご覧いただき、興味・関心のある事業に参加して、「WE LOVE とよた」を発見・体験してください。

「WE LOVE とよた」条例

私たちのまち、多様な魅力にあふれたまちです。

それは、豊かな自然とその恵み、栄えある歴史と受け継がれてきた伝統、世界に誇るものづくりの技術や技能、盛んな芸術やスポーツ、市民の活発な活動、多くの人々を受け入れ認め合う風土、都市部と山村部の共存と交流などです。

私たちは、その魅力に改めて気付き、共に絆と信頼を深めながら、愛情と誇りを持って行動し、魅力にあふれたまちを次の世代に引き継いでいきたいと願っています。そして、人や地域が優しさでつながり、多様な楽しみを尊重し分かち合うことで、誰もが幸せを感じる「わくわくする世界一楽しいふるさと」を目指していきます。

私たちは、こうしたことを「WE LOVE とよた」の取組とし、持続可能なまちを実現するために、このまちに関わる全ての人々と共に推進していくことを決意し、この条例を制定します。

(基本理念)

第1条 私たちは、次に掲げる事項を「WE LOVE とよた」の取組の基本とし、自らの意思で行動していきます。

- (1) 互いを尊重しながら、とよたの魅力を自由に楽しみます。
- (2) とよたの魅力を周りの人々に伝え、共に楽しみます。
- (3) 互いに協力しながら、とよたをもっと楽しくします。

(行動計画)

第2条 私たちは、「WE LOVE とよた」の取組を推進していくために、次に掲げる事項について行動計画を作ります。

- (1) とよたの魅力を知り、これを暮らしに取り入れ、発信し、高めていくこと。
- (2) 「WE LOVE とよた」の取組への理解と共感の輪を広げていくこと。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成 29 年 4 月 1 日から施行します。

(条例の見直し)

- 2 私たちは、第 8 次豊田市総合計画の実践計画の期間を経過した場合において、この条例の施行の状況について検討を加え、その結果に基づいて、必要な見直しを行うものとします。

<資料編>

**第1期行動計画掲載事業
視点別達成状況一覧**

①魅力を知る（19事業）

NO.	事業名【所管課】	分類	事業概要	「WE LOVE とよた」ポイント	第1期取組実績	第1期評価
1	自分の住む地域が大好きな子どもの育成 ・豊田市版コミュニティ・スクール推進 ・地域学校共働本部設置拡大 ・とよた大好きっ子カリキュラム ・市内産食材を取り入れた学校給食の提供 【学校教育課・保健給食課】	8 総戦略プラン	住民と共働した活動を充実するとともに、学校での学びを工夫していくことを通じて地域を知り好きになる取組を促進する。	学校が好き、地域が好き、とよたの自然や人やまちが好き。みんなで育てる子どものふるさと愛	・市内28の全中学校区へのコミュニティ・スクールの指定により、地域ぐるみの教育を推進する仕組みを整備。 ・市内103の全小学校へ地域学校共働本部を設置により、地域と学校が一体となって子どもを育てる体制を整備。 ・「とよた大好きっ子カリキュラム」の作成、9年間の学びのつながりを見える化を進め、「学校大好き」「地域大好き」と感じる子どもたちを育てることができた。 ・定期的に市内産食材（野菜や豚肉、果物など）を取り入れた献立で給食を提供した。	達成
2	とよたまちさとミライ塾 【商業観光課】	8 総戦略プラン	地域資源を活用した観光プログラムを市民に発信・体験し、観光の産業化を担う人材を発掘・育成する。	とよたの楽しみがいろいろ。隠れた魅力を見つけて体験、体感！	3年間で延べ215の体験プログラムを提供、3,000人以上が豊田の魅力を感じることができた。また、観光の産業化を担う人材の発掘・育成で、新たに36人の担い手が誕生した。	達成
3	市民が発信し交流するプラットフォームづくり 【経営戦略課】	戦略プラン	市民の活動やアイデアを広報・フリーペーパーで発信し、市民や活動者等が参加する交流会と総括イベントを開催、発信・交流するWEBサイトを開設・運営する。	とよたの魅力をみんなで発信。楽しむ輪でつながるとよた	多くの市民に「WE LOVE とよたフェスタ」等のイベント等を通じてとよたの魅力を伝えることができた。また、市民のアイデアを発信・交流できる「とよたのりのりチャンネル」の開設や、「WE LOVE とよた」のタネの作成を通じ、市民や市民活動を広く発信することができた。	達成
4	ものづくり教育プログラム 【市民活躍支援課】	8 総	小学生を対象に、学校カリキュラムの中で市民がものづくり学習を支援する。（理科、生活、図工、総合）	ものづくりの達人が、授業にやって来る！長年ものづくりに携わった大人から匠の技を学び、豊田市の素晴らしさを体感！	ものづくりサポーターの派遣や材料提供、職員による授業サポート等を実施し、ものづくりに興味を持つ子どもの割合が増加した。	達成
5	とよたものづくりフェスタ 【市民活躍支援課】	8 総	ものづくりの楽しさ体験と市内企業と連携した最先端技術を発信する。	一日で体験できます、竹とんぼや輪ゴム銃からロボットまで！来て、見て、体験、ものづくり！	TESフェスティバルとの合同でフェスタを開催。37,000人以上の子どもたちが体験し、子どもたちのものづくり活動に対する興味の向上につながった。	達成
6	クルマづくり究めるプロジェクト 【市民活躍支援課】	8 総	子どもが現役のプロから学びながらクルマづくりを通じて、ものづくりの苦労や達成感を体験する。	クルマづくりのプロから、ものづくりの心意気を学びます。	レベルに合わせた3部門のコースを実施。段階に合わせた高度なものづくり学習を企業・大学等と共働で実施し、子どもたちのクルマづくりに対する関心を高めることができた。	達成
7	科学技術教育推進 【市民活躍支援課】	8 総	主に中高校生を対象とし、企業や高校、大学、関係団体等と連携したハイレベルのものづくり・科学講座等の開催や生徒の活躍を支援する。	目指せ、未来の豊田市を担うエンジニア。仲間と競い合い、高度な科学技術を身につけよう！	中高生を対象とした科学技術教育に関する講座・イベントを36回開催。ハイレベルな講座を実施することで若い世代の科学への興味を高めることができた。	達成
8	匠の技に学ぶものづくりプロジェクト 【市民活躍支援課】	8 総	和紙・鍛冶屋・竹細工といったとよたらしいものづくりを、職人から学ぶ講座を実施する。	とよたに古くから伝わるものづくりの、心と技を学びます。	伝統的な産業のものづくりに関する講座を9講座開催。古くから伝わる職人の心と技を学ぶことができた。	達成

NO.	事業名【所管課】	分類	事業概要	「WE LOVE とよた」ポイント	第1期取組実績	第1期評価
9	市民と共に取り組む歴史・文化財・自然の継承 ・新博物館整備・郷土学習推進 ・豊田市歴史文化基本構想策定 【文化財課】	8 総 戦略プラン	市民と共につくる博物館づくり、市民の参加による歴史マイスター、市民からの情報を活用した行動計画の策定などを実施し、とよたの歴史文化を次の世代につないでいく。	見て、聞いて、知ろう！そして伝えよう！とよたの歴史文化は私たちのプライド	・郷土学習スクールサポートを延べ900校、60,000人以上が参加。親子で学べるワークシートを作成し活用を促したり、YouTubeで「豊田の歴史」を学ぶ講座を配信した。 ・（仮称）豊田市博物館の建築準備を計画通り実施。	達成
10	とよた森林学校 【森林課】	8 総	森林所有者の意識を高めるとともに森林への理解ある市民の拡大を図る。（森の応援団）	とよたの森の魅力を知り「森の応援団」になろう！	山に入り間伐ができる人材と森林・林業を理解・支援する森の応援団を育成する講座を実施。毎年、250人以上が参加し、森の応援団を育成することができた。	達成
11	歴史的な町並みを生かしたまちづくり 【文化財課】	8 総	重要伝統的建造物群保存地区の中心的な建築物である旧鈴木家住宅の修理・復元を行い、歴史的町並みを活用する中核拠点を整備する。	先人たちが残してくれた古い町並みと重要文化財を次の世代に残そう。	旧鈴木家住宅の整備は計画通り実施。 一方で、来館者数が新型コロナウイルスの影響等もあり目標を達成できなかった。	未達成
12	自然観察の森を拠点とした自然環境学習 【環境政策課】	8 総	環境学習施設「自然観察の森」を拠点に、小学生を中心に里山や湿地をフィールドとした自然体験など自然環境に関する学習を実施する。	とよたの7割は森でできています。森の自然に触れ、森の自然に学ぼう。	「自然観察の森」を拠点にした定期観察会やボランティア養成講座を実施。地球温暖化や生物多様性などの自然環境に関する子どもたちの理解や興味を高めることができた。	達成
13	ラムサール湿地保全活用 【環境政策課】	8 総	ラムサール条約湿地を地元保全団体と共働で保全するとともに、一般公開等の観察会や小学校等の環境学習に活用する。	世界に認められた湿地です。ここだけの自然、ここだけの生き物を学ぼう。	保全活動や定期観察会を実施し、ラムサール条約湿地の保全に関わる新たな団体の掘り起こしができた。	達成
14	定住促進に向けた地区計画制度 【都市計画課】	8 総	計画的な市街地形成が行われる区域について、良好な住環境の形成を促す地区計画を定めることで、家族形成期世代の市外流出を抑制する。	快適で住みやすいまち（豊田）にずっと住み続けよう！	平成30年度末に立地適正化計画を策定。	達成
15	とよた産業フェスタ 【商業観光課】	戦略プラン	豊田市内の産業、伝統、技術等を一同に集めたイベント。	豊田市の世界に誇る産業を始めとする多様な魅力を感じて、触れて、再発見しよう！	市内産業、伝統、技術等を一堂に集めた産業フェスタを開催し、多くの来場者にとよたの産業の魅力発信を行うことができた。	達成
16	人々の暮らしやすさとまちの魅力を高める交通における先進技術の活用 ・超小型モビリティシェアリング ・パーソナルモビリティ普及促進 【交通政策課】	8 総	とよたらしさである交通における先進技術のPRを行い活用してもらうことで、市民や市外からの来訪者に豊田市の魅力を感じてもらおう。	交通における先進技術を楽しむ体験し「クルマのまち」である豊田市らしさを感じる。	超小型電気自動車シェアリングサービスの実証実験を実施（平成29年度～令和2年度）。また、オンデマンド配達の実証実験も開始し、クルマのまちならではの先進技術をPRすることができた。	達成
17	豊田市郷土資料館開館50周年記念特別展「ぼくらの“1967” - 50年前のとよた・日本・世界 -」 【文化財課】	戦略プラン	1967年当時の豊田市の生活文化など、市民にとって身近なテーマを扱う。展示企画は、とよた歴史マイスターなどの市民とともに進める。	身近な歴史は、悠久の歴史への入口。新しい豊田の歴史をみんなで作ろう。	郷土資料館開館50周年を記念し、50年前の1967年当時の展示会を実施。歴史マイスターが企画段階から事業に参加しながら、豊田市の歴史文化に触れる機会を提供できた。	達成
18	民芸館・民芸の森と勘八峡の魅力発見 ・民芸館手仕事講座 ・民芸館展示・普及 ・民芸の森市民共働 【民芸館】	戦略プラン	とよたらしい手仕事（拳母木綿、陶芸、絞り染めなど）の体験と手仕事から生まれるぬくもりある日用品を暮らしに取り入れる紹介により、幅広い市民に知ってもらおう。また、市民と共働で民芸の森利活用を推進する。	「愛知県新十名所」をもう一度。勘八峡、平戸橋の魅力を再発見	民芸館周辺の魅力を市民に知ってもらうため、紅葉ウォーキング等を地域住民と共に実施し、民芸館を含めた周辺の魅力を再発見することができた。	達成

NO.	事業名【所管課】	分類	事業概要	「WE LOVE とよた」ポイント	第1期取組実績	第1期評価
19	豊田市高等学校魅力発見フェスタ 【学校教育課】	戦略プラン	豊田市内の児童生徒が、市内の高等学校・特別支援学校の魅力を知り、進路選択に生かせるよう、各校の生徒がそれぞれの学校の特徴や活動等を発信するフェスタを開催する。	豊田市内の高校には魅力がいっぱい。見つけよう各校の特色。感じようよたで学ぶ魅力	高等学校魅力発見フェスタを開催。市内高校等の魅力と、進路選択における情報発信ができた。	達成

②魅力を暮らしに取り入れる（16事業）

NO.	事業名【所管課】	分類	事業概要	「WE LOVE とよた」ポイント	第1期取組実績	第1期評価
1	地酒で乾杯、ふるさとの味を堪能 【経営戦略課・ツーリズムとよた】	戦略プラン	とよたの地酒で乾杯、とよたの食材を使った料理を味わう取組を推進する。また、地元陶芸家による杯や器の活用も検討する。（イベント例：「（仮）酒の陣」地酒に合う酒の肴づくり）	とよた産に徹底してこだわる。一味違うワンランク上の楽しみを。	KITARAオープンイベントでの地酒の飲み比べ体験や地産地食応援店の増加など、とよた産にこだわったPRを実施し、多くの市民にとよたの魅力を発信することができた。	達成
2	地域材の利用拡大 【森林課】	戦略プラン	地域材の利用拡大のための木育イベント（市民が木に触れ、楽しむ機会）を開催する。	子どもの頃から木に親しみ、楽しみながら「木づかい」しよう！	木育イベントの開催に留まらず、市内外のイベントへ数多く参加することで、地域材のPRだけでなくネットワークを拡大することができ、今後の地域材利用促進に大きな弾みをつけることができた。	達成
3	いなか暮らしコーディネート 【企画課】	8 総	移住希望者へのいなか暮らしの助言を始めとして「住まい」「暮らし」「生業」を総合的に支援し、山村地域への移住を促進する。	様々なライフスタイルが選択できる豊田の魅力を発見し、実現できる。	移住総合窓口の運営、いなか暮らし博覧会、移住PR冊子の作成、人材育成事業など数多くの事業を展開し、多くの生業を生み出すことができた。	達成
4	交流コーディネート 【企画課】	8 総	都市部と山村部のそれぞれが持つ強みで交流をコーディネート・発信する。（いなかとまちの文化祭、企業や労組の山村体験）	都市部と山村部の交流。魅力に触れて、感じて、発見して！	おいでん・さんそんセンターを中心に交流のコーディネート及び活動の支援、SNS等によるいなか暮らしに関わる情報発信を実施。また、いなかとまちの文化祭などを実施したことで、都市と山村の交流件数を増加することができた。	達成
5	ふるさとの川づくり 【矢作川研究所】	8 総 戦略プラン	子育て世代をターゲットに地域住民による身近な小川の自然再生活動を通して、共働で守り続ける自然豊かな川づくり。	身近な小川を、自分たちの手で創る育む遊ぶ。	日常的な管理体制まで行う住民主体の川づくりを進めることができた。	達成

NO.	事業名【所管課】	分類	事業概要	「WE LOVE とよた」ポイント	第1期取組実績	第1期評価
6	スポーツ教室 【生涯スポーツ推進課】	8 総	地元の大学、企業等と連携し、子ども向けのコーディネートトレーニング教室や中高年齢者向けの健康づくり教室を開催する。	地元の大学、企業等がスポーツの先生！	COT教室の開催や子どもスポーツフェスタの開催、中学校の部活動への講師派遣などを実施し、スポーツに取り組む子どもや高齢者の数の増加を図ったが、新型コロナウイルスの影響で中止等が相次ぎ、目標を達成することができなかった。	未達成
7	健康ウォーキング 【生涯スポーツ推進課】	8 総	健康意識を醸成し、健康づくりの輪を広げるため、健康づくりを実践する市民が集い交流する、ウォーキングを始めとするまちぐるみの健康イベントを開催する。	まちの魅力を再発見と健康づくりでつながる交流。楽しくみんなで元気	ウォーキングイベントを開催。延べ15,000人以上が参加し、健康意識の醸成を図ることができた。	達成
8	地域内経済循環を高める市内企業優先策の推進 【契約課】	戦略プラン	建設工事の一部の入札において、透明性・競争性を保ちながら、地元中小建設業者に限定する参加要件や、工事現場の地元業者に限定する地域要件（中山間地域はさらに要件を拡大）を設定することにより、地元の中小建設業者の受注機会を確保し、健全な維持発展を図る。	地域の企業、地域資源の優先活用で持続可能なまちへ！	大規模又は特殊な案件を除くほぼ全ての案件を市内本業者が受注する状況が続けることができ、一定の成果を得ることができた。	達成
9	地産地食の理解・環境づくり推進 【農政企画課】	8 総 戦略プラン	「たべまいとよた米プロジェクト」展開、「食と農ビジネススクール」で特産品づくり、スイーツフェアで農産物の魅力を発信する。	豊田のおいしい農産物を知って、とよたの農産物を買えよう！	農産物品評会やスイーツフェア、直売所スタンプラリー等のイベントを開催。また、地産地食応援店とも連携したイベントを開催するなど、豊田市産農産物のPRと魅力を発信することができた。	達成
10	農とのふれあい推進 【農業振興課】	8 総	市民農園等の運営・開設支援及び農ライフ創生センターにおける家庭菜園向け初級農作物栽培技術研修を実施することで、市民の農業への理解につなげる。	農の楽しさを感じて、“食と農”のつながりを理解してとよたの農産物を買えよう！	市民農園開設者・運営者への支援や初期農作物栽培技術研修、桃・梨専門コースの開講を通して、市民の農業への理解につなげることができた。	達成
11	エコットを拠点とした暮らしの環境学習 【環境政策課】	8 総	環境学習施設「エコット」を拠点に、小学生を中心に省エネやごみのリサイクルなど身近な生活環境に関する学習を実施する。	身近なことからコツコツと。省エネ、リサイクルを学ぼう。	エコライフ講座の実施やインタープリター育成講座を開講することで、子どもを中心に暮らしの中の省エネについて意識を高めることができた。	達成
12	目的や生活環境に適した移動を選択できる誰もが利用しやすい交通環境の整備 ・基幹バス運行事業 【交通政策課】	8 総	市民（地域）、運行事業者、市の共働による基幹バスの路線改編やイベント等におけるPRなどによる利用促進を実施する。	とよたの魅力や地域の絆をつなぐとよたおいでんバス。みんなで守り、育てていこう！	バス運行や乗降環境の改善を図り、おいでんバスを12路線運航。	達成
13	とよた元気プロジェクト 【商業観光課】	戦略プラン	WE LOVE とよたをキャッチフレーズに、市内の経済団体と行政による地域内消費喚起を始めとした地域を元気にする取組を推進する。	とよたの元気はここから。みんなとよたのものを買おう！	とよたPR大使によるSNSでのとよたの魅力発信や、地域内消費喚起を図るプレミアム付き商品券「WE LOVE とよた商品券」の発行、また「リバーサービス「T+CAGO」」の展開など、地域内消費の喚起を促し、地域活性化を図ることができた。	達成

NO.	事業名【所管課】	分類	事業概要	「WE LOVE とよた」ポイント	第1期取組実績	第1期評価
14	防災学習センターを拠点とした防火防災学習 【予防課】	戦略プラン	防災学習センターで、災害時に地域を守るために実践的な活動ができるよう、基本的な消防技術を学んだ高校生が来館者に防火・防災情報を発信する。	災害時に自分の命を守り、大好きなまちをみんなで守る。	民間企業と連携し季節・時事問題に対応した広報・啓発活動を進めることで、防災学習センターの利用者数の増加と防火・防災意識の高揚につながった。	達成
15	持続可能な社会に向けたエコファミリーの輪の拡大 【環境政策課】	戦略プラン	エアコンの設定温度を控えるなどエコ行動の取り組みを宣言する「エコファミリー」を募集し、更なるエコ行動につなげるために情報発信等を実施する。	とよたのまちをエコで楽しく次世代につなぐ。	新規会員獲得に向けた事業を展開するとともに、地域に還元されるポイント利用の体制づくりを進めることができた。	達成
16	市民・地域による市民の健康づくりの推進 ・地域特性を踏まえた地域主体の健康づくりの推進（きらきらウェルネス地域推進事業） ・ヘルスサポートリーダーとの共働による地域の健康づくりの推進 【地域保健課】	8 総戦略プラン	地域健康カルテを基に、地域特性に応じた健康づくりを住民やヘルスサポートリーダーとの共働により推進する。	健康の輪でつながる、地域がつくる元気な豊田市民	・地域診断の実施や、住民との意見交換会及び健康づくり計画の作成により、地域特性を踏まえた地域主体の健康づくりの推進を図ることができた。また、20中学校区において健康づくり計画に基づいた共働による事業を実施しており、PDCAサイクルに基づいた地域の健康づくりに取り組む地域を拡大することができた。 ・ヘルスサポートリーダーについては、多くの修了者数を得ることができ、各地区の健康づくりを担う人材が確保され、健康課題解決に向けた講座や健康づくり活動が活発に行われた。また、健康づくり事業への参加者数も120,000人以上に増加し、市民の健康に対する意識も向上させることができた。	達成

③魅力を発信する（10 事業）

NO.	事業名【所管課】	分類	事業概要	「WE LOVE とよた」ポイント	第1期取組実績	第1期評価
1	COOLとよたの発見と発信 【国際まちづくり推進課】	戦略プラン	外国人が見たとよたの魅力や面白さの発掘と市民の気づきのための機会づくり、外国人のSNSを活用した発信を行う。	あなたはとよたをどう思う。市民に伝え世界に発信	ラグビーワールドカップ2019において、とよたの魅力を発信するおもてなしを実施。多くの外国人にとよたの魅力をPRすることができた。	達成
2	外国人のおもてなし推進 【国際まちづくり推進課】	8 総戦略プラン	市民や外国人おもてなし市民会議との共働で来訪外国人が日本や豊田市を楽しめる機会の創出と多言語に対応した案内を促進する。	外国人にも愛されるまちとよた	ラグビーワールドカップ2019開催に向け、多言語ガイドボランティアを募集・養成するとともに、おもてなし市民会議を発足。体制強化を図り、期間中、駅周辺を中心に外国人へのおもてなしを実施。終了後にケース別行動マニュアルを作成し、今後の来訪外国人をもてなす体制を整備できた。	達成

NO.	事業名【所管課】	分類	事業概要	「WE LOVE とよた」ポイント	第1期取組実績	第1期評価
3	とよたの特産品展 【商業観光課】	戦略プラン	豊田市内の特産品を市外に発信するイベント。	豊田市内のおいしい特産品を知ろう。	お茶や果物などのとよたの特産品をPRするイベントを市外で出展。多くの人にとよたの魅力ある特産品を発信することができた。	達成
4	映画等を活用したプロモーションの展開 【経営戦略課・商業観光課】	戦略プラン	豊田市を舞台とした市民参加の映画やPR動画等を活用し、交流人口の増加や市民の愛着を高めるためのプロモーションを展開する。	豊田市を舞台に豪華キャストによる感動の映画を制作。スクリーンからとよたの魅力を再発見！	豊田市を舞台とした市民参加の映画「星めぐりの町」の撮影、メイキング動画公開、ロケ地マップ製作、全国劇場公開し、豊田市の魅力を全国に発信するとともに、郷土愛を醸成することができた。	達成
5	定住促進プロモーション 【定住促進課】	8 総	「ファースト暮らしとよた」を通じて、市内外の家族形成期世代へ豊田市の魅力や住みやすさのPRを実施する。	とよたの暮らしやすさを実感。ここから始まるわが家のミライ	PR冊子の作成やウェブサイトでのPRに加え、市内外のイベントやマスメディアを活用したプロモーションを実施し、豊田市の暮らしやすさや魅力を発信することができた。	達成
6	環境先進都市プロモーション 【未来都市推進課】	8 総	とよたエコフルタウンを活用して本市の環境先進技術を発信、市内企業の出展促進の働きかけを行う。	無理なく、無駄なく、快適に！ミライのフツーをとよたから！	エコフルタウンを拠点に、ガイドツアーや低炭素な暮らしのPRを行い、市民や企業に低炭素な暮らしを浸透させることができた。	達成
7	まちなか総合案内機能整備 【商業観光課】	8 総	ラグビーW杯に向けて、まちなかや観光情報の発信拠点としてまちなか総合案内機能を整備する。	聞いてみて。とよたの魅力をご案内	まちなか案内機能「エヌロク」を運営し、イベントやまちなかの賑わいにつながる情報を発信することができた。	達成
8	緑と花につつまれたまちづくり ・緑と花につつまれた都心創出 ・民有地緑化促進 【公園緑地つかう課】	8 総	スタジアムアベニューを中心に緑や花を充実させ、うるおいを創出する。 また、市民や団体の緑化事業補助で緑と花につつまれたまちづくりを促進する。	緑豊かな都市環境をみんなで作り来訪者をおもてなし	都心の私有地や停車場線における緑化の箇所や整備面積について、緑化を推進することはできたが、目標を達成することができなかった。	未達成
9	都心地区サイン施設再整備 【都市整備課】	8 総	既存サイン施設の情報更新や新設サイン施設の設置を行うなど、来街者に分かりやすいサイン施設の充実を図る。	来街者を分かりやすいサインでおもてなし	都心内に29基のサイン施設を設置し、来街者の回遊性や利便性を向上させることができた。	達成
10	豊田ものづくりブランド 【産業労働課】	戦略プラン	豊田市内の中小企業・小規模事業者の持つ優れた技術・製品にスポットを当て、一定の基準を満たすものを「豊田ものづくりブランド」として認定し、中小企業の販路拡大等の支援を実施していく。	日本一の「ものづくりのまち」であることに誇りを持つ！	多くの企業の技術・製品を認定し、共同出展を始め、パンフレットや動画によるプロモーション活動を推進することで、企業の新たな販路開拓や、本市のものづくりイメージの向上につながった。	達成

④魅力を高める（7事業）

NO.	事業名【所管課】	分類	事業概要	「WE LOVE とよた」ポイント	第1期取組実績	第1期評価
1	県内一の観光都市への飛躍 ・観光マーケティング事業 【ツーリズムとよた】	8 総 戦略プラン	ツーリズムとよたを設立。とよたの観光の魅力を伝える市民向け観光ツアーを実施、観光商品の企画販売を行う。	見つけに行こう。とよたは隠れた観光の宝の山	ツーリズムとよたと連携し、観光分野におけるマーケティング調査を実施。また、民間企業との連携及び旅行会社・メディアに対する営業活動を継続したことにより、観光事業の促進や新たなニーズを開拓できた。	達成
2	市民によるアートプロジェクト推進 【文化振興課】	8 総 戦略プラン	デカプロジェクトを発展させ、不特定多数の市民を巻き込みながらアートプロジェクトを展開する。	アートでとよたがもっと好きになる。	「地域資源を活用した人と人、人と地域の結び付きを生み出すアートプロジェクト」を毎年公募・採択し、実践者の掘り起こしとサポート・助言による人材育成を継続して行うことができ、延べ58人の文化芸術によるまちづくりの担い手人材を発掘・育成できた。	達成
3	まちなか広場空間活用推進 【商業観光課】	8 総 戦略プラン	既存の公共空間を利用したまちなか広場の活用アイデアや担い手を発掘・育成する。	みんなでアイデアを持ち寄って、まちをもっと面白く！とよたのまちなかを本気であそぶ、つかいこなす！	ペDESTリアンデッキを活用した長期飲食事業の実施や、あそべるとよたDAYSをまちなか広場7箇所ですべて毎年400件以上開催し、まちなか広場の有効的な活用と広場利用に係る人材育成を図ることができた。	達成
4	多様な再生可能エネルギー等を活用した中山間地でのエネルギー自給モデルの確立 【未来都市推進課】	戦略プラン	風力発電や太陽光発電によって発電された電気をその周辺で使い切ることでエネルギーの地産地消を実現する。	地元にある再生可能エネルギー資源に支えられていることに気付けば地元がもっと好きになる。	再生可能エネルギーの地産地消の実現や、エネルギーの有効活用による地域課題の解決に向けた取組みを実施することができ、多様な再生可能エネルギーの地産地消ができるモデルを構築することができた。	達成
5	市民発！ミライ☆チャレンジプロジェクトによる未来志向の取組支援 【企画課】	戦略プラン	活動団体や企業などが未来志向の新たな発想で社会課題の解決に挑む事業に対し、事業費の支援とボランティアと一緒に事業内容のブラッシュアップ等の支援を最長3年行い、事業の自立を目指す。	市民が自らつくる。とよたのミライのフツー！	2か年で延べ10団体の提案を採択、延べ40人の協力を得て、未来志向の課題解決事業を実施することができた。	達成
6	矢作川水辺プロジェクト 【河川課、公園緑地つかう課】	8 総	矢作川の水辺空間の活用を推進するとともに、水辺とまちが一体となった魅力ある空間づくりを実施する。	いこう！つくろう！つたえよう！矢作川の水辺の楽しさは無限大	水辺空間の活用計画に基づき、矢作川コアエリア（白浜・千石公園）の再整備を完了。	達成
7	市民が公園を守る取組 ・地域住民による都市公園の管理 ・市民ボランティア団体との共働による公園整備事業の推進 【公園緑地つくる課】	戦略プラン	地域住民で組織する団体による公園管理と、市民ボランティアによる鞍ヶ池公園里山エリアを整備する。	公園を地域住民で、見守る！関わる！そして楽しむ！子どもから高齢者まで、誰もがいきいきできる地域の宝物をつくろう！	住民管理の公園拡大に向けた取組を進めるとともに、定期的にボランティア団体との共同での里山整備活動を継続したことで、来園者が安心して利用できる身近な里山を維持することができた。	達成

⑤ 「WE LOVE とよた」の理解と共感の輪を広げる（9事業）

NO.	事業名【所管課】	分類	事業概要	「WE LOVE とよた」ポイント	第1期取組実績	第1期評価
1	スタジアムの徹底活用 ・ラグビーW杯2019開催 ・トップアスリート・スポーツ チームの応援 【スポーツ戦略課・生涯スポーツ推進課】	8 総	スタジアムでラグビーワールドカップ2019、ラグビートップリーグやJリーグをみんなで応援し、応援によってまち全体が盛り上がる取組を展開する。	スタジアムでつながろう。みんな で熱烈応援、一体感を実感	トップアスリートによる「夢の教室」や名古屋グランパス指導者による巡回指導などを実施するとともに、庁舎内にホームタウンコーナーの設置やわがまちアスリートの認定を行うことで、スタジアムを中心に選手応援でまち全体が盛り上がる取組を実施した。	達成
2	わくわく事業 【地域支援課】	8 総 戦略プラン	地域資源を活用して地域課題解決・活性化に取り組む団体への補助、PR強化による新たな担い手を発掘する。	地域への想いを行動で直接表現してWE LOVE とよたを実感	市内28地域で延べ1,115のわくわく事業を実施。また、交流会やガイドブック等を作成し、新たなわくわく団体の掘り起こしを行うことができた。	達成
3	不法投棄パトロール隊支援 【清掃業務課】	8 総 戦略プラン	消耗品や原材料を支援し、地域住民によるごみ拾い活動や不法投棄防止対策を促進する。	ポイ S T O P ! みんなでつくろうきれいなまち。	不法投棄パトロール隊登録団体数が増加し、12,000回以上の不法投棄パトロールを行ったことで、廃棄物の不適正処理現場の数を40カ所減らすことができた。	達成
4	郷土愛を施策の推進につなげる取組の強化 【企画課・財政課】	戦略プラン	本市の出身者等がもつ郷土愛を施策の推進力につなげるため、ふるさと寄附金やクラウドファンディング等を有効活用する。	郷土愛をカタチに。ふるさとに貢献しよう。	ふるさと寄附金の拡充や寄附募集テーマの選定、クラウドファンディングの有効活用を通じて、郷土愛を施策の推進力につなげることができた。	達成
5	福祉センター「交流コーナー」の機能の充実と市民・団体活動の活性化 【総務監査課】	戦略プラン	グループ紹介掲示や社協事業等の交流コーナーでの発信と、交流活動の充実をして人・団体の活動の活性化を図る。	人がつなる、発信する拠点。市民・団体の活動の活性化	ボランティアグループ同士やボランティアに関心のある方とボランティアグループの情報交換の機会を継続的に提供することで、新たな交流、活発な交流を生み出すことができた。	達成
6	地域子どもの居場所づくり 【次世代育成課】	8 総	子どもたちが自主的に活動する場、地域の子ども同士や大人が交流する機会を提供し、地域全体で子どもの育成を支援する。	地域で見守ろう！育てよう！ 地域の宝 子どもたち	子どもの居場所づくりに関わる団体も増加し、また放課後児童クラブの待機児童数も継続して0人と、地域全体で子どもの育成を支援する体制を整えることができた。	達成
7	市民活動促進事業 【市民活躍支援課】	8 総	多様な主体による公益的な活動を支援して市民活動を促進、様々な分野の人が交流するミライカフェを開催する。	語り合おう豊田の魅力。様々な分野の人とつながり、まちをもっと楽しもう。	第3期市民活動促進計画を策定・推進することで、市民活動を促す取組への参加者を大幅に増やすことができた。	達成
8	企業退職者や大学生などの地域活動への参加促進 ・高齢者の活躍支援 ・若者人材ネットワークの活用による地域活動を担う若者の発掘 【地域包括ケア企画課・次世代育成課・市民活躍支援課】	8 総 戦略プラン	助け合いや支え合いのできる地域づくりを進めるための担い手として、ノウハウや行動力のある退職者や学生を地域活動につなげる。	地域のために活動することで、改めて地域を知り、より住みやすいとよたを作る。	・企業退職者等による地域活動の参加を促進するため、社会福祉協議会ボランティアセンターの機能を強化し、ボランティア団体、関係機関等とのネットワーク構築等を行った。 ・地域で活動したい学生や大学生ボランティアに対して、若者を募集する外部団体の情報を提供したり、青少年センターに登録している若者グループの情報を発信することで、若者が活躍し、若者同士がつながるきっかけを作り出すことができた。	達成

NO.	事業名【所管課】	分類	事業概要	「WE LOVE とよた」ポイント	第1期取組実績	第1期評価
9	障がい者理解・啓発活動の推進 【障がい福祉課】	戦略プラン	当事者団体・家族会との共働によるプロモーションビデオの作成・地域での展開や講演会の開催など、障がい者の理解につながる活動を実施する。	誰もがいきいきと ともに暮らすまちをめざして。	民生委員や企業等へ広く障がい者への理解・啓発を実施でき、多様な障がいを正しく理解する市民を増やすことができた。	達成